

しまむら たかひこ

豊島区議会議員 **島村 高彦** 《誠実・スピード・サービス》



新型コロナウイルス感染症対策に全力!!

新型コロナウイルス感染症対策の取り組みとして5月までは、副議長として区の対策本部に参加。
また、公明区議団として区民生活を支援するために計3回の申し入れを行った他、個別にも様々な対策に取り組むよう要望を重ね続けてきました。

《個人の方への主な支援》

○あらゆる相談に対応する、わかりやすい窓口の設置を要望

▶ 1階のセンタースクウェアに設置

○生活費に困窮した人への支援として従来の生活福祉資金は効果的な利用ができない

▶ 緊急小口資金及び生活支援金の特例貸付を有効活用

○家賃の支払いが難しくなってしまった人への支援、仕事が減り、減収となって困っている人への支援

▶ 住居確保給付金制度の活用と就労支援を行う「くらし・しごと相談支援センター」を徹底周知

○特別定額給付金は給付までに時間がかかるので急いでいる人への対策を要望

▶ 本当に困っている人には先に現金支給

○特に困窮している児童扶養手当受給世帯への支援を要望

▶ 収入の少ないひとり親世帯に対する給付金を国に加えて区も支給決定

国 第1子 50,000円 第2子以降 30,000円 にプラスして
区 第1子 50,000円 第2子以降 30,000円

《事業者の方への主な支援》

○日本政策金融公庫の実質無利子の融資や東京都の感染拡大防止協力金や国の持続化給付金が
必要な全ての事業者利用されるように強く要望

▶ 区に専用相談窓口が設置

○それでもこれら協力金・給付金が原則ネットから申請のため、パソコンができない人、苦手な人の
ために代わって申請が可能となるように対応を要請

▶ 区が豊島区行政書士会に委託して申請

○国や都だけでなく区も独自の支援を行うよう要望

▶ 金利0%のコロナ対策緊急資金が開始、介護事業所に特別支援金を給付

《その他緊急要望》

○ウイルス感染症が蔓延する中、首都直下地震や豪雨災害が発生した場合、区民の命と生活を守る対策を強く要望

▶ 全ての救援センター(避難所)で配備職員の実地訓練がスタート



豊島区に対し、計3回の申し入れを行った公明党豊島区議団



業者の申請業務を支援して下さる東京都行政書士会
豊島支部の近藤支部長(右)と豊島区の高野区長

念願の横断歩道が新設!!

白山通り・巣鴨地蔵通り商店街入り口の歩道橋は利用度も低く、横断歩道のないところを横断する自転車や歩行者が多く、ときに交通事故も発生していることから、安全に横断できるよう15年間、



歩道橋の撤去と横断歩道の設置を訴えてまいりました。

なかなか交通管理者の許可が下りず難航しましたが、本年1月、ようやく実現しました。



新たな照明、防犯カメラ、 注意喚起の張り紙を設置。

奥に長い巣鴨駅第三自転車駐車場。利用している若い女性から、「夜は奥の方が暗くて、たまに挙動不審な人もいて怖い」との訴えあり、新たな照明、防犯カメラ、注意喚起の張り紙を設置しました。



工事中の囲いフェンスの色を 変更してもらいました。

工事中の囲いフェンスが白色で眩しくてつらいが、どうしてもここを通らなければならないという方の要望を受け、建築事業者に掛け合い、フェンスを黒くしてもらいました。



ご相談・ご要望はお気軽にご相談下さい!!

住所：〒170-0002 豊島区巣鴨 1-4-6-501
携帯：090-2545-9734 E-mail：3komei@a.toshima.ne.jp
役所控室：豊島区役所 9F 公明党議員控室
豊島区南池袋 2-45-1 TEL：03-3981-1428

<http://www.takahiko-shimamura.com/>

facebook

